

【各種資格認定に必要な症例数・単位数 一覧表】

※2020年4月以降の申請では、単位数の変更に伴い、各資格申請に必要な単位数も変更になっております。

単位数の詳細は弊会HPの「各種認定情報・資格申請」にございます「単位数一覧」をご確認ください。

※2020年3月31日までに取得された実績は、旧単位数表(2019年9月11日更新)で掲載されているものも内容が認められれば単位の加算が可能です。

ただし、取得単位は新単位数表(2020年4月1日更新)をもとに算定されます。

※申請にはその他資格要件を満たすことが必要です。詳細は資格毎の各種規則をご確認ください。

資格名	区分	職務・麻酔経歴	必要臨床実績	必要単位数
学会認定医	新規	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※医師免許取得後10年以上経過している場合は、直近10年分	認定病院での麻酔管理症例24ヶ月分の臨床実績報告書	—
	更新	申請する年の5年前の4月1日から申請時までの経歴書 (経歴提出のみ)	—	4単位 単位表に掲げる項番1～3の参加実績
	再認定	申請する年の5年前の4月1日から申請時までの経歴書 (経歴提出のみ)	—	4単位 単位表に掲げる項番1～3の参加実績
学会専門医	新規	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※研修プログラム中は週3日以上麻酔科関連業務に継続して従事していることが必要です	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの臨床実績報告書(※A) ※研修プログラムで以下の経験症例数を満たすこと ・帝王切開術の麻酔 10 症例 ・小児(6歳未満)の麻酔 25 症例 ・心臓血管手術の麻酔 25 症例 (胸部大動脈手術を含む) ・胸部外科手術の麻酔 25 症例 ・脳神経外科の麻酔 25 症例	8単位 1) 学術集会等への参加実績 6単位 ※B 2) 学術発表による発表実績 2単位 ※C ※2017年度開始研修プログラムに登録されている方は、機構基準となりますので「機構専門医新規」に記載された必要症例数・必要単位数を取得ください。
	新規(旧制度)	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※認定医取得後から週3日以上麻酔科関連業務に継続して従事していることが必要です ※認定医取得後から申請年の3月31日までに週3日以上麻酔科関連業務に従事している期間が合計2年以上必要です ※認定医取得後から申請年の3月31日までに1年以上は認定病院で週3日以上手術麻酔の業務に従事していることが必要です	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの臨床実績報告書	8単位 1) 学術集会等への参加実績 6単位 ※B 2) 学術発表による発表実績 2単位 ※C
	更新	※現在学会専門医の方は次回の更新は機構専門医更新をご申請ください		
	再認定① ※資格喪失後5年以上	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※医師免許取得後10年以上経過している場合は、直近10年分	申請する年の1年前の4月1日から申請年の3月31日までの臨床実績報告書 ※上記期間の臨床実績報告書内容から、満3ヶ月の麻酔科関連業務の従事を確認します。	8単位 以下に掲げる4単位の実績を含まなければならない 1) 日本麻酔科学会が主催する年次学術集会への参加(必須) 3単位 2) 以下①から③いずれかより1単位 ① 日本麻酔科学会が主催する学術集会等への参加 ② 日本麻酔科学会が主催する学術集会等での発表 ③ 日本麻酔科学会の機関誌、準機関誌への発表 ※不足する単位は単位表に掲げる学術集会への参加ならびに発表及び学術出版物への発表による実績で加算が必要
	再認定② ※資格喪失後5年未満	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※医師免許取得後10年以上経過している場合は、直近10年分	申請する年の1年前の4月1日から申請年の3月31日までの臨床実績報告書 ※上記期間の臨床実績報告書内容から、満3ヶ月の麻酔科関連業務の従事を確認します。	8単位 以下に掲げる4単位の実績を含まなければならない 1) 日本麻酔科学会が主催する年次学術集会への参加(必須) 3単位 2) 以下①から③いずれかより1単位 ① 日本麻酔科学会が主催する学術集会等への参加 ② 日本麻酔科学会が主催する学術集会等での発表 ③ 日本麻酔科学会の機関誌、準機関誌への発表 ※不足する単位は単位表に掲げる学術集会への参加ならびに発表及び学術出版物への発表による実績で加算が必要
機構専門医	新規	医師免許取得後から申請時までの経歴書 ※研修プログラム中は週3日以上麻酔科関連業務に継続して従事していることが必要です	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの臨床実績報告書(※A) ※研修プログラムで以下の経験症例数を満たすこと ・麻酔科管理症例(局所麻酔を含む) 600例 ・小児(6歳未満)の麻酔 25 症例 ・帝王切開術の麻酔 10 症例 ・心臓血管手術の麻酔 25 症例(※D) (胸部大動脈手術を含む) ・胸部外科手術の麻酔 25 症例 ・脳神経外科の麻酔 25 症例	10単位 1) 学術集会等への参加実績 5単位 ※B 2) 学術発表による発表実績 2単位 ※C 3) 専門医共通講習による実績 3単位 ※E
	更新	申請する年の5年前の4月1日から申請時までの経歴書 ※専門医取得後、単一施設で週3日以上麻酔科関連業務に継続して従事していることが必要です	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの報告書	50単位 1) 診療実績 最小5単位(最大10単位) 2) 専門医共通講習 最小3単位(最大10単位) 医療安全講習会, 感染対策講習会, 医療倫理講習会をそれぞれ1単位含むこと 3) 麻酔科領域講習 最小15単位(上限なし) ※このうち10単位は本学会主催の講習会であること 4) 学術業績・診療以外の活動実績 最小6単位(上限なし) ※最小6単位は学術集会への参加単位で取得してください。 学術集会への参加は6単位を超えてカウントすることは出来ません。 単位計算の詳細はこちら
	再認定	※詳細は「機構専門医 再認定」をご確認ください。		
学会認定指導医	新規	申請する年の5年前の4月1日から申請時までの経歴書	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの期間で指導症例500例分の臨床実績報告書※F	【正会員】 下記のいずれかを満たすこと 1) 学術集会参加実績(12単位)※G 2) 学術集会参加実績(8単位)※G+研究実績(3.5単位) 3) 学術集会への参加実績(8単位)※G+指導実績(500例以上) 【名誉会員・施設長】 学術集会への参加実績(8単位)※G
	更新	申請する年の5年前の4月1日から申請時までの経歴書	申請する年の5年前の4月1日から申請年の3月31日までの期間で指導症例500例分の臨床実績報告書※F	【正会員】 下記のいずれかを満たすこと 1) 学術集会参加実績(12単位)※G 2) 学術集会参加実績(8単位)※G+研究実績(3.5単位) 3) 学術集会への参加実績(8単位)※G+指導実績(500例以上) 【名誉会員・施設長】 学術集会への参加実績(8単位)※G

【必要症例・単位数における注意点】

A	臨床実績報告書のカウント: 1症例につき、担当症例: 2名、指導症例: 2名の計4名までカウントが可能です。 研修プログラム必要経験症例のカウント: 1症例につき、担当医1名のみカウント可能です。小児と心臓は1症例につき2名までカウント可能です。(指導症例はカウントできません) https://anesth.or.jp/users/preview/news/5ce65c9b-7cd4-4080-960c-1ab41b002544
B	『(公社)日本麻酔科学会年次学術集会』への参加実績1回以上を含み、必要単位を満たすこと
C	『(公社)日本麻酔科学会が主催する学術集会での発表』あるいは『Journal of Anesthesia』『JA Clinical Reports』または「麻酔」への発表のいずれかによる発表実績1単位以上を含み、必要単位を満たすこと
D	2019年度以降に研修プログラムを開始した専攻医について、心臓血管手術の麻酔症例は25例のうち人工心肺装置を使用した心臓大血管手術および心拍動下冠動脈バイパス術(OPCAB)の麻酔症例を必ず15例以上経験することとし、その他の心臓大血管手術症例を含めることができる
E	医療安全講習会, 感染対策講習会, 医療倫理講習会をそれぞれ1単位ずつ受講ください(e-learningでの受講も可)
F	日本麻酔科学会認定指導医(学会指導医)に関する内規 第5条3号の要件で申請を行う場合に提出すること(第5条3号以外の要件では提出の必要はございません)
G	この法人の年次学術集会に1回以上出席して取得した単位を含んでいることが必要です。また、単位表に掲げる項番1～3、項番5(この法人が主催するもの)の参加実績のみ加算可能です。